土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

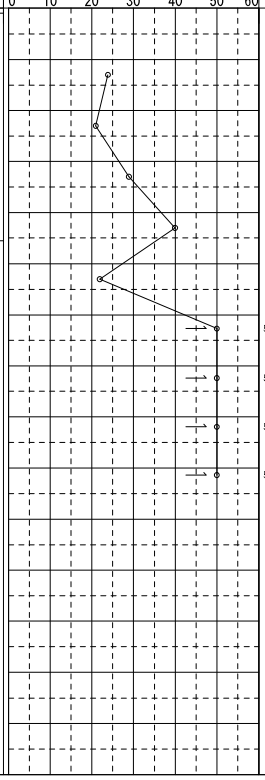
調査名	二級河川瀬野川水系熊野川支川1外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.1	調査位置	広島県安芸郡熊野町　地内(熊野川支川1)			北緯	34° 21' 10.2810"
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和3年 6月23日～ 令和3年 6月25日	東経	132° 35' 01.9893"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 270.86m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	9.22m	使用機種	試錐機	東邦地下工機　DO-C型			
			エンジン	ヤンマー　NFD-13EK型		ポンプ	東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1 2	268.16	2.70		礫混り砂質土		暗褐	rd3		渓床堆積物 ・礫はφ20-50mm程度の細-中礫が混入 ・場所的にφ80mm程度の玉石及びクサリレキ点在 ・基質は粗粒砂主体の粒度不均一な砂質土であり、若干の細粒分及び鉱物片を伴う ・最上位、人頭大程度強の転石が点在	
3 4 5 6	264.86	6.00		花崗閃緑岩		灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩風化土 ・風化変質が進行して岩質は著しく軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するが、長石類及び熱水脈で粘土化著しい ・採取試料は土柱状を呈し、岩芯まで軟質化し指圧で凹む ・岩級区分はDL-DM級(土砂)に分級される	6/28 4.55
7 8 9	261.64	9.22		花崗閃緑岩		灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し掌で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDH級(軟岩Ⅰ)に分級される	
10 11 12 13 14 15										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
24	1.15	5	6	13	24/300		
	1.45						
21	2.15	5	8	8	21/300		
	2.45						
29	3.15	8	10	11	29/300		
	3.45						
40	4.15	11	14	15	40/300		
	4.45						
22	5.15	5	8	9	22/300		
	5.45						
50以上	6.15	15	22	13	50/240	240	
	6.39			40			
50以上	7.15	25	25		50/180	180	
	7.33		80				
50以上	8.10	23	27		50/190	190	
	8.29		90				
50以上	9.05	26	24		50/170	170	
	9.22		70				

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				6/24
				6/25
				6/28